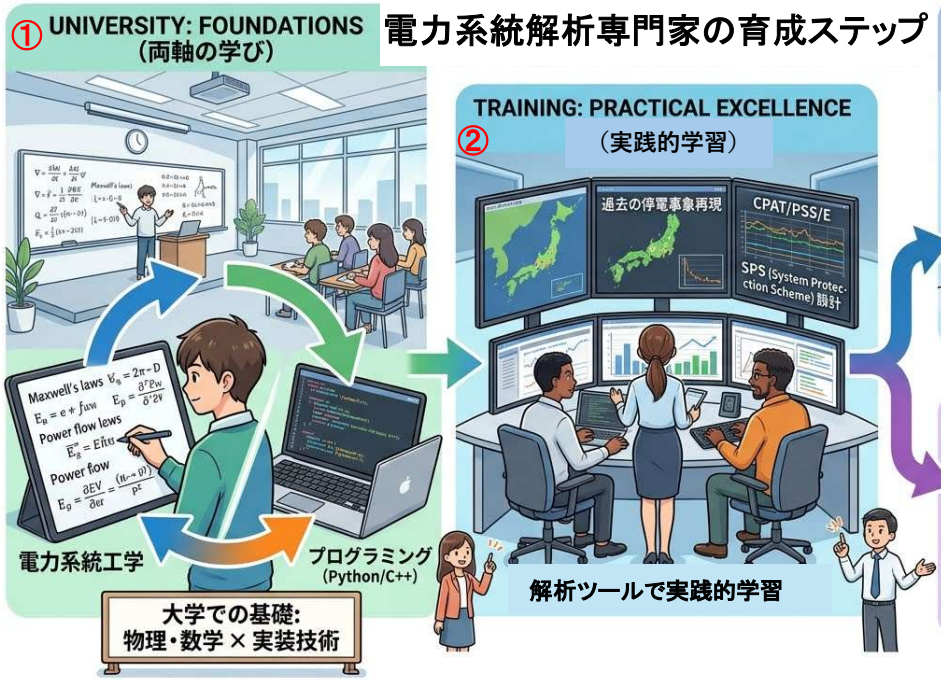
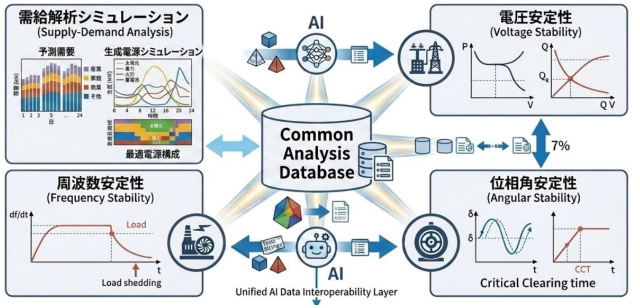
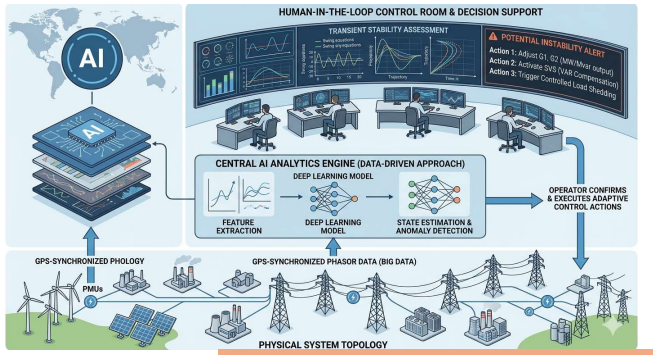
電力系統解析専門家の育成ステップ







①基礎となる「電力系統工学」の物理則とベーシックな制御則，大量の系統データを扱うための「データサイエンス（AI・統計・プログラミング等）」を両軸で学習

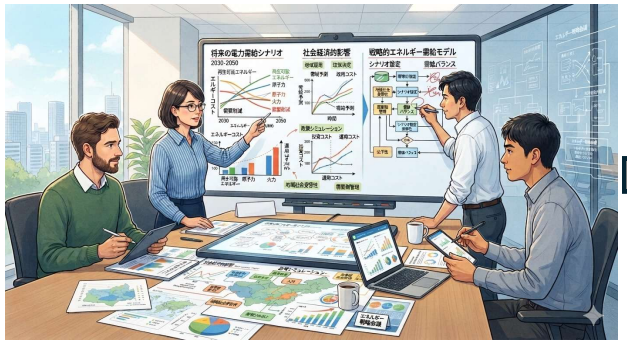
②実務用の系統解析ツール（CPATやPSS/E等）を使用し，国内・海外の過去の大規模停電事故の基本事象の再現，事故を未然に防ぐ対策の立案といった実践的なケーススタディによる実系統挙動の学習

③その後の進路の一つは，現象の分析，解析モデルの開発や解析ツールの開発などを遂行できるより高度な解析者へのパス，もう一つは，解析アルゴリズムやツールを実装できる国内屈指の開発エンジニアへのパス

④策定したシナリオを系統技術面で裏付けし、政策として具体化して提言

⑤提言が国や電力会社の意思決定等に反映されることで専門家のスキルがアップ（人材育成促進の好循環）

系統技術面の裏付け



電力・エネルギー需給シナリオの策定（シナリオ設定・分析・エネルギーコスト評価等）– 社会科学分野専門家主体 –

策定シナリオ



国や電力会社の意思決定等に向けた提言



実社会からのフィードバックによる人材育成促進